

# 歴史民俗資料館

## 【江田船山古墳】

5世紀後半から6世紀初頭に築造された仁徳天皇陵に似た前方後円墳。明治6年（1873年）に発掘されたが、内容豊かな副葬品で広く注目され、わが国古代史において重要な位置を占めています。なかでも銀象嵌銘太刀に施された75文字の銘文は発見当時日本最古の文字とされています。



てつせいしょうかくつぎふと  
▲鉄製衝角付冑

## 【鉄製衝角付冑】

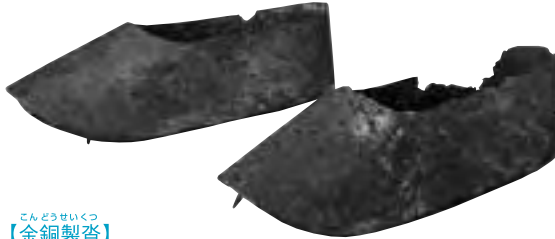
この鉄製衝角付冑のほかに短甲・頸甲などの武器も出土しています。



## 【銀象嵌銘太刀】

銀象嵌を施して記されてた75文字の銘文は、棟の部分に刻まれている。また、馬（ペガサス）、花、魚、鳥の紋様も象嵌されています。

ぎんそうがんにめいた ち  
▲銀象嵌銘太刀



## 【金銅製沓】

全体を亀甲文で飾り、底には9個のスパイクがついている。長さは34cmと大きく実用品ではないと思われます。



▲銀象嵌銘太刀の天馬（ペガサス）や菊花紋の紋様



## ■歴史民俗資料館

先土器時代から古墳時代までの出土品を時代別に展示。縄文・弥生時代の土器や、古墳時代の土師器・須恵器。江田船山古墳出土の冠帽・沓・装身具などの国宝のレプリカを展示しています。

【開館時間】AM9:00～PM5:00（入館は4:30迄）

【休館日】月曜日（祝日の場合は翌日）

【入館料】無料

【問い合わせ先】

TEL(0968)86・3131（民家村）

町教育委員会 総合教育課 内線244



## 【画文帯対置式神獣鏡】

鏡はこの画文帯対置式神獣鏡はじめ、神人馬車画像鏡・画文帯同向式神獣鏡・獣帯鏡・画文帯環状乳神獣鏡・変形四獣鏡の6面が出土しています。

## 【金銅製冠帽】

絡み合う竜を中心にして、まわりに火焰文を配した構図を透彫で表現されている。このようにすばらしい透彫の冠帽はほかに例がないようです。



# 資料館に行こう

先土器時代から古墳時代までの郷土の出土品と、江田船山古墳出土品の複製品など数百点が展示されています。



▲ひと目で遺跡の場所がわかります。

# 戦

国衆まつりで武将の履くわらじがなかったことから、当時の三加和町長から頼まれてわらじ作りを始めたのがきっかけとなった「戦国わらじ会」。会の名前もここから由来しています。

会が発足して今年で20年目。

戦国わらじ会の会長の金栗勇喜さんは、今日まで伝統工芸を受け継ぎ、そして、若い方たちに教えられています。

「現在、11名でがんばっています。みなさん夫婦でわらじ作りをしているので、とても和やかな雰囲気です」。金栗さんの言う「和やかな雰囲気」とは、年に数回行われる講習会後の親睦会のこと。普段は、それぞれが自宅での作業になります。地道な作業が続く毎日ですが、この時ばかりはみなさん夫婦で参加され、話も弾みます。「わらじ作りも奥さんと作業を分担しています」。きめ細かい作業は奥さん方の腕の見せ所ようです。

わらじは年間4000足ほど作られています。熊本の卸売業者からの注文が多いようです。「藤崎宮祭りに玉名の八幡さん、荒尾の野原八幡さんなどから注文がきます」。金栗

## 三加和伝統工芸 戦国わらじ会会長

金栗 勇喜さん(84歳)

さんがダンボールに書いた注文表を片手に笑顔浮かべられます。最近注文が多いのは子ども向けのわらじです。16cm・18cmといった具合に足のサイズごとに注文があります。

特に近年は、わらじの材料でもある「わら」の確保に苦労されているようです。稲刈りもコンバインで刈り取り、かけ干しをしなくなっただけで、質のよい「わら」を手に入れるのは難しくなっています。この質の良い最適な「わら」とは、長くて

青みのあるわらのことをいいます。幸いにも戦国わらじ会の他の会員の方が農業を営み、かけ干しをされているので、この先しばらくは確保できます。しかし、高齢化社会で、農業も後継者不足の中、わらの確保と

ともにわらじ作りの技術を伝承していくのが難しくなっています。

「わらじは一足、約700円程度ですが、正直、利益はありません」と語られます。わらじを一足仕上げるのに要する時間は約2時間。1日で5足が精一杯です。また、わらは刈り取ったわらをそのまま使えるわけではありません。わらを叩いて(わら打ち)柔らかくしなければいけません。この作業がとても地道で力のいる作業になります。

何か趣味を持っていることが健康の秘訣と話される金栗さんは、とても84歳には見えません。「私たちは、営利目的ではなく三加和の伝統工芸をどのようにしていくか、そして楽しくみんなが若い人たちに伝えていくことがこれからの課題です」。

毎年、戦国わらじ会では、小学校にわらじ作りを教えに行かれています。春富小学校に飾られた宝舟・草履・わらじ・鶴・亀・お正月の飾り・俵・・・。



春富小学校に飾られた宝舟・草履・わらじ・鶴・亀・お正月の飾り・俵・・・毎年各小学校へ伝統工芸を教えに行かれ、たくさんの方々が楽しみにしています。

何でもいいと思います。

趣味を持つことが

健康の秘訣ではないでしょうか。

【かなくり・ゆうぎ】  
和水町中林在住。  
戦国わらじ会会長を務められ、今年で会が発足して20年目に。名人さん会副会長も兼任される。84歳。



さん

